

新潟県

幼保小の架け橋プログラム

ステップ・アップ ガイド

Step up Guide

新潟県幼保小架け橋センター



各ステップに応じた取組を進めましょう！

幼児期から児童期の発達を見通しつつ、5歳児のカリキュラムと小学校1年生のカリキュラムを一体的に捉え、幼保小の関係者が連携して、カリキュラム・教育方法の充実・改善を図るため、「幼保小の架け橋プログラム」(以下、架け橋プログラム)を推進しています。

発達段階により、幼児期は遊びをとおして様々なことを総合的に学んでいきます。一方、小学校では教科ごとに学習を進めていきます。必要な違いではありますが、このギャップをスムーズにしていく取組が架け橋プログラムです。

架け橋プログラムは、進めていく段階別に取組があります。幼保小で架け橋期のカリキュラムを協働で作成し、次は相互参観や授業改善・保育改善の実践段階へ進み、こどもたちの主体的な遊びや学びを引き出し、「つながる学び」を効果的にしていくことが大切です。





【ステップ1：体制作り】

- ・ 幼保小それぞれに架け橋の担当者の位置付け
- ・ 相互理解の促進に向けた、幼保小の取組を伝え合ったり、架け橋期のカリキュラムを検討したりする合同研修会等の開催



【ステップ3：実践段階】

- ・ 相互参観と協議会の実施
(目指すこども像、遊びと学びのつながり等の検討)
- ・ 授業改善、保育改善に向けた取組
(幼児体験を生かした授業づくり、小学校の学びを意識した見取りと援助)
- ・ こどもの意欲や自覚を高める交流活動の設定
- ・ 申し送り資料の工夫
(学区年長児共通教材一覧表など)
- ・ 合同会議の充実
(各学区との実践情報交換、共通課題研修等)



時間割表

	月	火	水	木	金	土
1	国語					
2	理科					
3	社会					
4						
5						
6						

【ステップ2：架け橋期のカリキュラムの作成】

- ・ 幼保小の協働による架け橋期のカリキュラムの作成
- ・ 架け橋期のカリキュラムを基にした園のアプローチカリキュラム、小学校のスタートカリキュラムの作成



【ステップ4：改善・発展】

- ・ 評価会議の実施
(取組の評価、こどもたちの姿、課題の整理など)
- ・ 取組の定着と持続可能な方法への改善



架け橋期のカリキュラムを作ったら、

次のステップに進みましょう！

架け橋プログラムは、よりスムーズな幼保小の「つながる学び」を目指しています。これまでの交流活動中心から、日々の授業改善や保育改善につなげていくことが大切です。作成したカリキュラムを実践レベルの取組に発展させていきましょう。



新潟県幼保小架け橋センター

新潟県教育庁義務教育課内

〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1

TEL 025-280-5220

Mail ngt-youji@pref.niigata.lg.jp

架け橋プログラムに関する研修会等のお手伝いをいたします。ご相談ください。

